の酸明をもなさずして正貨の補となすや或は関庫補償となすべきかについて意見の交換をなしきかについて意見の交換をなしまかについて意見の交換をなしませば、

事務別局課制度

質に怪しからぬ

斷じて納入出來ない

野添奉天商議書記長語る

記文定を なした場合手数で三式

| 東京二十日登電|| 十九日・シー | 東京二十日 | 東京三十日 |

金解禁、在外正貨補充問題で?

つて密議

表彰行惱む

關係當局間の

刷般 满日社印制的 過ば日の日八 田の日な 金 。 荻川放談園

感(其二)

支那に於ける非理監督は、事の ところ、張宗昌なんかを指嗾支 ところ、張宗昌なんかを指嗾支 ところが、何處にそうした事實 と云ふが、何處にそうした事實

んなどは、支那ならでは軽られ

り、そうして馮が山東への進出

山間にはあらずや。

戦條約留保批准

國反對の意を表す 首相以下善後策協議の結果

中では、大きない。 「大きない」という。 「大きない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない

様であるに決した、西 問題の字句に對しては我國が 獨自の解釋を附することを原案の儘御批准を奏請すること

藏相ご日銀總裁

而して御批准奏請は今月中に行はるゝ模

別訪問して別訪問して

支那派遣軍

及態度で がは、さずれば更貴を派して検 査をなし課税すべし 査をなし課税すべし をは、さずれば更貴を派して検 をは、さずれば更貴を派して検 をなると、まずれば更貴を派して検 をは、まずれば更貴を派して検 をは、まずれば更貴を派して、まずれば更貴を派して、まずれば更貴を派して、まずれば更貴を派して、まずれば更貴を派して、まずれば更貴を派して、まずれば更貴を派して、まずれば更貴を派して、まずれば更貴を派して、まずれば更貴をが、まずればして、まず

日 等かの塚に出づるであらうが、 日 等かの塚に出づるであらうが、 て正式に通告するが恥敢へず口 で 頭で通知する

南潯鐵路公司と

| 「東京二十日後記 | 「東京二十日後記 | 「東京二十日後記 | 「東京二十日後記 | 「東京三十日後記 | 「東京 | 「東京 | 「中国 | 「東京 | 「中国 | 「東京 | 「中国 | 「東京 | 「中国 | 「東京 | 「東京 | 「中国 | 「東京 | 「東京 | 「中国 | 「東京 | 「東京 | 「中国 | 「東京 | 「東京 | 「中国 | 「東京 | 漢冶萍公司問題 きのふ預金部運用委員會で

富川預金部長の報告 独中である

賠償會議の

内各方面に於て非常に期待されて、所名が問題に於て非常に期待されて

0

獨代表認む 可能性ありと

原田五品理事長

市助役と收入役 けふ任期満了す

日下に登入代表の小野衛のでは、一大学を一大学では、一大学には、一大学

0

の威・朝みに 

本語の対象を対していては最近南 結果を有するとしても預金部債権 思を有するとしても預金部債権 思を有するとしても預金部債権 思を有するとしても預金部債権 思を有するとしても預金部債権 思を有するとしても預金部債権 思を有するとしても預金部債権 はいるような はいい かいては 最近南 は いっぱい かいては 最近南 は いっぱい かいては 最近南 は いっぱい かいては 最近 いっぱい かいては 最近 南 は いっぱい かいでは いっぱい かいてい は いっぱい かいてい は いっぱい は は いっぱい は いっぱい は いっぱい は いっぱい は は いっぱい は いっぱい

所員を集め別れの挨拶

だ こと助役を市長にしたらよからう 市長はいけぬが助役には賛成だ

市政革新運動、何ぞ百尺竿頭一市政革新運動、何ぞ百尺竿頭一 天氣

設したわけか。
「政権の必要なる所以を支那側で示したわけか。」 閣まで投げ出すやうになる。 しかし「樞密院様の仰せは解す 発見官が結膜を切らせられた。 「櫃舟は怪しからぬ」と言った 井一旦(睛) 0 一時曇り 「風を連の整部である」

深次に等いる。 「一に対したという。 「一に対した。 「一に対し、 「

突如邦商に對し

馬玉群との確執に外ならず、 新いまないので、それが助ち新介石とというで、それが助ち新介石とというで、それが助ち新介石と

対のみ、流経ひ使ったいまである。
 はてしたとて、日本が撤兵するに、どうして張宗昌等を支持しに、どうして張宗昌等を支持した。
 はあか、どうして張宗昌等を支持した。
 はあか、爲さんと彼せば南、
 がはずるが、爲さんと彼せば南。
 はいのできる。

銷場稅徵收運

十九日奉天稅捐總局員が戸別訪問

横柄な態

適性検査委員會を設く 一、適性検査委員會は委員長一名 委員及幹事若十名を以て之を組 被す、委員長は社長室能率係長 之に任ず、委員、幹事は委員長一名 の委嘱により之を定む

五、委員長貝瀬金音、委員大岩峯 古、靈藤利灣、金子利八郎、生 吉、靈藤利灣、金子利八郎、生 中根信慶、大內次男、玉名勝夫 中根信慶、大內次男、玉名勝夫 感じ全委員會及小委員會を招集 委員長は會務を總理し必要に の委嘱により之を定む は委員長の命を受け會務 選民政署並に大沙市 選民政署並に大沙市 で(歩兵第十五聯隊 で(歩兵第十五聯隊 で(歩兵第十五聯隊

大 觀

如



脱。形化

②四月十六

水

満鐵内で頗る期待

行與念記社復活日郎次傳內河大 衛兵利屋野天 田澤·治文小川市 劇活喜トンウマラパ 劇活喜作特活日

德 解決篇 不小唄レヴュー

たので八木總領事は直ちに 嚴重抗議した人日井病院に對し不當にも立退 きを迫つは商埠地でないからとの 理由で同地の邦 ペルピン十九日發電』 支那官憲は三姓

立退きを迫らる

不法なる哈爾賓支那官憲に

八木總領事嚴重抗議

校長會議

來る三十日に

一部十時から大連第二中學



國

十五日より 一週間

お 演主二耕島·江界川夏

拾五日號大興行 脱通 烹 上海の脳脊

けふから徴收

判官から露領浦鹽に寄港

グ公殿下新

三方の入口に門衞が立つて

回二錢の切符賣り

電氣遊戲もこの季から子供一行つた。「て見る気になつたのかというでは、さくらも簡がふくら」の息女も罹病したので纏饃事館官だ」と答べ「文鑑験級」いた、さくらも簡がふくら」の息女も罹病したので纏饃事館官だ」と答べ「文鑑験級」

上帝 是 一部 一

**平紙に連載大好評の** 

金剛呪門の映畵

マアンを執在せしめた武井龍三で松平教章に扮して活躍し其他主なるキャストは静香八郎の服野主次、月岡猛の個木兵助、市町寺大、月岡猛の個木兵助、市町寺大、月岡猛の個木兵助、市町・一味・一、大谷萬六の壁の十兵衛、一、大谷萬六の壁の十兵衛、一、大谷萬六の壁の十兵衛、一、大谷萬六の壁の十兵衛、一、大谷萬六、千代田綾子のお方探等である。

つ

とめ

一圓五十

武井龍三主演の前後篇十六卷

來る廿四五日兩夜協和會館で

**本社主催で封切會** 

すべく着々と準備す

も甚だしい、滞俗せぬと頑張

込んで紅い腕章を巻 三門には支那人の門 を変形人の門

なカバン

入場料を徴收する電園正門

しく逃亡す

べてるた、されに野し高井俊

あす愈よ優勝

試合

榮冠は何處へ、豫想を許さめ

興味ある最後の一戦

(=)

はれ人心極度に動搖しつゝあり倫烈人は便衣殿の一人らしいと

練習艦隊 青島

(4.75 (1.75 ) (4.75

選の内、入園を希望するものは は、製織街は戸敷一千敷百 に は、製織街は戸敷一千敷百 に は、製織街は戸敷一千敷百 に は、製織街は戸敷一千敷百 に

日曜学校・利用する 「医生物・動物・関連など、 「大学校・利用する 「大学校・利用する 「大学では、「大学の諸人」」」、「大学のでは、「大学の諸人」」、「大学の諸人」」、「大学の諸人」」、「大学の諸人」、「大学の表人、「大学の表人」、「大学の表人、「大学の表人、「大学の表人、「大学の表人、「大学の表人、「大学の表人、「大学の表人、「大学の表人、「大学の表人、「大学の表人、「大学の表人、「大学の表人、「大学の表人、「大学の表人、「大学の表人、「大学の表人、「大学の表人、「大学の表人、「大学、「大学、大学、「大

渾河鐵橋の

「本天特電廿日酸」下り線の運河
「本天特電廿日酸」下り線の運河 れ從菜中の演野徳松外二名の日本午前十一時五十分頃クレーンが開 工事中椿事 三名死傷す

大連の春季競馬

新抽籤馬に興味集る

海 海 岩 多 洋 行

かられたに順神近の櫻は約一萬本以 柳の芽は一層。 ころび染めるだらう。春の音信 ころび染めるだらう。春の音信 で満たる、櫻で満た。 れた底順神近の櫻は約一萬本以 のさくら 天長節頃から

る日曜學校を利用すること」し滿一する計畫であるとあり建物は差當り現在四丁目にあ一籤の補助を仰いで將來財團法人とあり建物は差當り現在四丁目にあ一籤の補助を仰いで將來財團法人と

でであた、されに戦し高井線 (大人) なる論告の後継後 (栄育ひ渡しは来る二十七日の豫定と言つたのです) 察官は 年を求刑し午後一時閑廷したが郷 電番港の際中村より聞いたと 察官は できる注視した上とする事にした。 をとしても提出の意思でありたい。 をしても提出の意思でありたい。 をしても提出の意思でありたい。 をしても提出の意思であるが、常分かられて表現であるが、常分からない。 をしても提出の意思であるが、常分かられて表す。 をしても提出の意思であるが、常分かられて表す。 をしても提出の意思であるが、常分かられて表す。 をしても提出の意思であるが、常分からない。 などであるが、常分からない。 であるが、常分がある。 であるが、常分からない。 であるが、常分からない。 であるが、常分がある。 當分抗告せぬ 成行を注視し

主催 滿州日報社

讀者席入場券(上數公) 滿洲日報社

となつて不敬の記録を

意に言っ

讀者席入場

多 (上戦る)

**醋關東州野球大會** 

る。

町速浪 世上五六五部電 0

\*\* 岛久密店 \*\*\*

神經衰弱• 結核賭症• 一般叔後衰弱 體力、精力の増加豆復等 大連市監部通二〇

各種産業の

獎勵概要

本年度の施設事業

輸送高

の間で設行することになった に関行して、交換銀行と百萬 元、廣信公司二百十萬元、決策 銀行四百二十萬元

# 當座利息單位引上

日から實行

は三萬一千枚のいた。

さ - 瓮を揚げた前して株主配當は一分)と一千六百四十四週を後加州 分)と一千六百四十四週を後加

况

三港到着の

特產物數量

三月中五十三萬餘噸

五月 百圓單位計算、五百圓以下無利子 支銀、外銀へも勸誘

## 大連組合銀行では影響の通り利息を附すべき需率預金の單位別とに明合せ来る五月一日から鮮銀、正金、正隆、満銀、大連商業の中であつたが、愈、現代三百畳以下無利子を五百上について健議中であつたが、愈、現代三百畳以下無利子を五百上に明合せ来る五月一日から鮮銀、正金、正隆、満銀、大連商業の日本には一所に之を實施し、支那銀行及外頭銀行も之に挙ずっことを勧誘することに決定したと、

三月十七 一五七二 三六六七三月二十 一四九二 三十十二

五七二 三六六七

哈爾賓大洋

一枚 110大五 育二五五五五

如外(公部)

二新鐵一寄出公

売引入超 一五、五四三 所引入超 一五、五四三 所 人 一五、五四三 八二、二四一 八二、二四一 八二、二四一 八二、二四一 八二、二四一 八二、二四一 八二、二四一 八二、二四一 八二、二四一 一五、五四三

を辿り殊に世樂鳥

微けるものとみられてある

○ 本特殊記事を連載の豫定 ・ 大神圏監に関する「関盟巡り」と云 ・ 清圏監に関する「関盟巡り」と云 ・ 大神圏監に関する「関盟巡り」と云

本事 シーロ 『間島登』 郷巻方面の電支質器は との間に右に闘する協定が成立する。 一三月中の 満鐡線 ら今田まで密線の外に続けてゐたところか るものと見られてゐる。若し 窓中に於ける繊維線の特電影響 なく、所原間に所三部識を見てゐ 切つた勢ひを示すべく從つて旧支中に於ける繊維線の特電影響 なく、所原間に所三部識を見てゐ 切つた勢ひを示すべく從つて旧支地に記述する。若し 窓上式の解析に続けてゐたところか るものと見られてゐる。若し 窓上式の解析に続せば左の城くである。若し 窓上式の解析に続せば左の城とである。若し 窓上式の解析に続せば左の城とである。若し 窓上式の解析に続せば左の城とである。若し 窓上式の解析に続せば左の城とである。若し 窓上式の解析に続せば左の城とである。若し 窓上式の解析に続せば左の城とである。若し 窓上式の解析に続せば左の城とである。 を得、來る廿五日午後三時から。 あ九日重役會で今期決算の承認 は去

紫通…… 黒テニス靴 壺の店 兒靴 **小大大小中大** リョ日ー廿月四 拉日五月五間日五十

水産會社の

競和 月月 五四十十八日(十十八日(七十八日)(大人日)(十十八日)(十十八日)(日十七八日)(日十七月)(日本曜)) 雨天順延 場十毎日開午

新数東部寄り寄り KUTAICO., LTD

一句貿易入超

(215)

織に

◆日本少女歌劇座、村上演藝部後接會設會式に招聘されて來月七日から歌舞伎座で開演、寫眞は一座の高速度レジ

寺疾患者の福音服然には 神疾患者の福音服然が問うる病疾の破死と自安療法院 はないたしま

昭

型智的に、駐脳的に、呼解に、 理智的に、駐脳的に、呼解に、

と、玄昌、思はず立ち

ウム、返すべき所へ返しに行く

のをがいの神をお京はムズと個といって、言いすて、然能へたらうと

その鐵箱をお返し下さ

をこに立つてる文は、 関系と、ハッとなつた。 ア経田先生ー」

東といんだ際に、後の「お待ツー」

誰の復電でし

と、四人が門内へ走り

早早く驚動を持つてつか驚をかけた。

なれれ

脚すとそのま、低て悶熱した。中身に激薬を浴びた萩原、身を中身に激薬を浴びた萩原、身を

「どないしやはりましてん?先生」「近所の町人から、すぐ等ねられた 棚子さきの饗覧に驚いて路に出てる 「えツッ火が?火事になりまツか 

一どないしやはりまして

「お京さん」こ、といつが設計を持つてるんだ」 たってるんだ」 と、乙臓は機原を指さしながらてきが黒焦げに関れてる機原の鬱水のを見ると、ヘトくと後、 京さんしこ、といつが投針を

たが、朝鮮ではマキー脚が出れたが、朝鮮ではマキー脚が近外の一般ではマキー脚が出れたが、朝鮮ではマキー脚が出れたが、朝鮮ではマキー脚が出れたが、朝鮮ではマキー脚がはが、東京になったが、朝鮮ではマキー脚がは、一般に表して、東京になった。

痔疾を怖れぬか 時々刻々に命を削る 痔瘻は難病中の難病

肺病を怖れて 

四 衞 生

行くと、支護は乗び退いた。を問題にしたこの程の作品製作説を整要った製造した政際を見ると、養さめが選択したそれは最にマキノキと製造した政際を見ると、養さめが選択したそれは最にマキノキを製造した政際を見ると、養さめが選択したそれは最にマキノキの場合、本文は、叫ぶと同時に、スツと様の概容が高いことのはの概念を下れて追びすがるお菓「グラス」の如きものらして其風の動に、ないだ。それへ追びすがるお菓「グラス」の如きものらして其風で、一次であり、明ぶと同時に、スツと様の概容が高いという。 各等を対して、 を受ける。 本本等をはいる。 本本等をである。 本本等をできます。 ないではいる。 を受ける。 ないではいる。 を対して、 をがして、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがして、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがして、 をがして、 をがし 映畵漫談會

語 (1) を上演すると (2) をおります。 地華曾主催の春季 (2) を上演すると (3) 地華曾主催の春季 (4) を上演すると (4) を上演すると (5) を上演すると (5) を上演すると (5) を上演すると カキで(電三九五八)ま多君(電六九五四)ま 

▲ボリーブといふのは行門の を排便の抜けをするもので非常に を指便の抜けをするもので非常に を選れて出血にからし、 を表を起すのである、行門を塞い で排便の抜けをするもので非常に で非便の抜けをするもので非常に ▲肛門裂創 されは所謂されて歌るべき馬崎では近れば一時として歌るべき馬崎では歌しい解みと出血を作ふるであるべき馬崎が表示すれば化響の数が振便時などして恐るべき馬崎炎や痔瘻である、そののでは、大きののでは、大きの大き馬崎炎や痔瘻である。そののでは、大きの大き馬崎炎や痔瘻でなる。 代表的五痔疾藥

現今では抽べな痔疾寒が接近されてあるが多くは一時的効力を有するものよみで似たり寄つたりであるのは何と気つても世間に知られてある小松者の難でその特殊なれてある小松者の難でその特殊ない。 比さならてあすれ

昭

藥

はないであるから間が、は直ちに流い等疾も初期には少常る人々は直ちに流れて思い常るる人々は直ちに流れて思い常うものであるから間がある東京をは直ちに変があるのであるから間があるのであるから間があるが、は直ちに変があるが、は直ちに変があるが、は直ちに変があるから間があるが、は直ちに変があるが、は直ちに変があるが、は直ちに変があるが、は直ちに変があるが、は直ちに変があるが、は直ちに変がある。 春季に亢進する 和昭 86 主

だり、特殊を整理的に分類すると特別のまりさけ長、特別ので、 11世級のまりさけ長、特別ので、 11世級のまりさけ長、特別ので、 11世級のようなは、 11世級のようなは、 11世級のようなは、 11世級のようなと、 11世級のようなと、

てはならぬのである。

痔疾。種類症狀

Ń.

きの 遊水

t

和

能効治主

り、暖を何等の降害なく切り、暖を何等の降害なく切り、暖を何等の降害なく切り ル 百日以 能効治主

7

86

书 越木 友

和昭

能効治主

は最中等時にて贈書き時又は氣経し從ひ手足 とは最神とは動きに含ませ手當すれば奏効能 でも本理を口中に含ませ手當すれば奏効能 でも本理を口事に含ませ手當すれば奏効能 でも本理を口事に含ませ手當すれば奏効能 でも本理を回動する。

能效治主

耳睛、壁は、境壁等直接間接に治

して其の効迅速なる事語合なり。

能効治主

脚類其の他便秘より來る諸症に對する便秘、選上症、耳鳴、眩晕、胸腹唇に ちり、一直の

前效治主

和昭

さ

73

藥

月經不眠、門經院院、生殖器健育不全及是に 伊ふ不庇症、脱落病狀等に用ひての特効薬に 中、不庇症、脱落病狀等に用ひての特効薬に して殊に連用しても無害にして正規の來潮を 見る転換。

約井井井井旭

上上上上

特

天東島春賓

奉安青

店飯飯飯飯

四四日日

能効治主

P

利に続ける特別機にて既に定認あり。 関、監験 慢性下痢、時候あたり等にて下 の、監験 慢性下痢、時候あたり等にて下

能划治主

知らぬ間に治癒する 痰を去 す賣販に店藥各地各

推新斯勒里市迪大 洋 和 昭 元 賣 發

店理へ

八八四额 #命用御の入(四页

なぜ EL- SOVALE IN

和昭 !!

能划治主

来を参考に

工事の御用命は

高

石商

言

時辨は全 册(孙)经

なくてはなら

麗東 文東京高 東京高 東京高 画 東京高 画 教 西山先生日人 の先生も 山田先生日く せらる!

> 玉かつま詳解

> > 原著者本

時

珍

特約店募集

毛筆又はベンの

修 氏

考職林職技師 考定牌系统大名誉教授 考學博士 監修校註白井光 問奏 牧野富太 水鐵五 宗 太郎 博 信 幹 昭 利 郎 郎

木村 真康 海 込あれ。 病上の 植物、 醫師藥劑師は固より動物 れたり。 明なる國譯曉光の前に開

石に必須の大出版、 文學家、 鑛物の各専門家、 宗教家の座 即刻申

學術上の 豫約募集。 大聖典は創めて平 一大秘藏 積集五千 醫學治 年世界

美 

五拾

略■ 拾 N 线·地方三 给六篇

世界に

誇

3

全

譯

譯

文

0

平

明

挿畫

0

豐富。

効

果と

討究認

識

根最

據新

科

任

務

は

現實

0

内容見本準 豫約郷五月廿二 自 

春

場

はここ 國 誇り百花 書譜よ 爛漫 た 始る 春 は

◇錄目總卉花◇

■規 解體圖) 葉〈燈影式寫生圖解說、 日申込命 □昭和四年五月中旬より陽月一概づ♪十二月 送料市內二國四合統

輯拾貳

杉浦非水畫伯編 +++ め學術參考品として繪畫圖案服飾家を始

絶好の名著!!

三人 害なく最も早く自宅で一五月の滞り

徹底的淨化を望む

名古屋案內 (中央廣告社扱)

満

秋山 節波

爆弾に坐する

潚

洲 H 報

果北政權

店員 夢陽堂藥局 電七三 野場一部 野町十後

信用 食象低利短

写り具 器著音器は特別勉强 五七番第三ますや電人四九八 五七番第三ますや電人四九八 五七番第三ますや電人四九八 一番 電話セス八一番

瀬戸物へ彫り込み

世一回金献拾錢 金 六 拾 銭 金 會 回金献拾錢增 案内 

ラチオ五球式一切百四十 変表浪速通 門永洋 行 変天浪速通 門永洋 行 変接部へ 紫四二五九

**・ 保藤子山陽電四三六二 御排下前は何卒御用** 

日本網際 電話三五人四番 日本網際 電話三五人四番 日本網際 電話三五人四番

が一人に関す

黑菱家高病院

(天津特信) 天津警備司会部憲兵 (東京を持た、大津警備司会部憲兵 に対し、政治の敬重なる派令を強動に なると共に 逮捕命令

特約店募集 型錄贈呈

行電五五五七 大黒屋 大墨、六墨、四

五式 ニュトロンダイン 三 高級優秀品品額修理 高級優秀品品額修理 日五十側立 高級優秀品品額修理

る語級の記述を

クサ 放発有させ 対象有させ

オは何でも大勢弧

際治御好みの方は 電話六六八八八へ

頭痛にノーシン

大陸旧電町西島場上ル

小身際局

地路六六の六番

責ル

住宅二階種町である。

薬及治療

る真空管サーカルニー

九八二二一戦闘

佐藤 紅 高店 手袋靴下専門 水 福 香 製造のグ星上に割ります。

安田金庫西會-

時本文太郎 電話四六九二番 鈴木文太郎 電話四六九二番 鈴木文太郎 電話四六九二番

大連若狭町二三七渡・渡・野でアイオリン・自全及がアイオリン・自全及が、自全を対する。

婦木丈太郎 電話四六九二番 ・ 大東 性睾丸炎 鍼灸 ・ 大東 性睾丸炎 鍼灸 ・ 大東 性睾丸炎 鍼灸

貸衣

貸衣 黝 關 電景解光色質的

さ日を変われている。 まつや町

日産町たじなや電大六〇一番 Ep

AT THE

電六八四三番 南坂 大山通(日本橋近) 吉野 號 大山通小林又七支店大山通小林又七支店 は六八四三の 大連埠頭待合所の 大連埠頭待合所の

障故大増率能音福大の界鋼金

事門のヤナギヤへ大連市浪運町二丁目部品館内出版版版の出版を対して、 **夏内三一店** 

日本タイプライタ會社

名古屋市中區葉場町六一

ヤケヤ

主差好遊 科器尿淡毒梅廖皮 重 富 观点。西-橋盤常·通西連大 五七話電

濟生醫院 施 見話セハ六七 膚 特:慢 毒 性症

本製田湖 大寒災電景

E體橋電交叉断早川齒科南 M調道五段前田久郎 W製道五段前田久郎

哈爾賓路警處

邦文 1

大連響城町通五八南線電小六六二 東速町山形洋行電三の一五番 漁速町山形洋行電三の一五番 漁速町山形洋行電三の一五番 漁速町山形洋行電三の一五番 漁速町山形洋行電三の一五番

動馬インギック

火災日報對安全在

大連自動車讓暫所電二一三四五 東運興手募集連成臺

タイ 東部通ル六北側 高部通ル六北側 高齢會計等 中前午後翻 第一年前午後翻

金庫

貸

農運町一丁目裏通り

リープ目裏通 日露洋行 ・パタークリーム ・パタークリーム

ラデ

オは何で

生

投入材料

脱ホネッギ

紀の國屋質店

實即

の御用は

吉野町一萬堂電七八五九一萬堂

の御用命は

食金低利極級

コン ガーミシンは常盤様 オーニシンは常盤様

**終**題日 大連市但居明二二 矢班淄甲專門店電話八四三二

屋質 勉強致います。

**若狭町二番地** 中

村

常盤精工舍

看板 大連伊勢町 世界 大連伊勢町野田看板店電四五六四 大連伊勢町

| 洋服仕立ます尚教授も致婦人子供服は切地を御持ちになれ 電話五七七四・三八八六番 御祭宅には馬車より安い大ダクシー 大連タクシー 

大学の表記が入ができましたのである。 「大学の表記が入ります。」

「大学の表記が大学の表格問題に関するが、来る

「大学の表記が大学の表格問題に関するが、来る

「大学の表記が大学の表格問題に関するが、来る

「大学の表記が大学の表格問題に関するが、来る

「大学の表記が大学の表別が表別に、同盟に関する。」

「大学の表記が大学の最終される音等の技術問題に関する。」

「大学の表記が大学の表記が大学の表別が表別に、同盟に関する。」

「大学の表記が入りのよう。」

「大学の表記が入りのよう。」

「大学の表記が入がつかり、」

「大学の表記が入が、よります。」

「大学の表記が入が、よります。」

「大学の表記が入り、」

「大学の表記が、よります。」

「大学の表記が、ます。」

「大学の表記が、よります。」

「大学の表記が、ます。」

「大学の表述が、ます。」

「大学の表述が、ます。」

「大学の表述が、ます。」

「大学の表述が、 氣遣は 南滿教專の運命 二三年後に決定せん れる

> ▲申込所 奉天驛案內所(電話二四1) ▲汽車賃 (往復) 金四國三十錢也 鎭江山觀櫻會員縣 主催 來る二十九日朝六時中歸蓋

六點價格百五十圓を登まる 奉天鐵道隱旅客課奉天母日新聞社

天驛一、二等待合室に於て煙管外 検渉を述べた 大帝闘劉某は十八日午後三時頃率 紋雄氏同伴十九日各方面を腰訪大帝闘劉某は十八日午後三時頃率 紋雄氏同伴十九日各方面を腰訪が近くた 大野一、二等待合室に於て煙管外 検渉を述べた 

春陽に惠まれて

各校の修學旅行

朝日大和の一部は既に決定

安中五年は上海へか

ટ

五十一時から演響館に於て編人子供修り餘與其他で大に一日を享受する大田では、経典を開から演響館に於て編人子供修りない。

寄附電話納金

カストビューローに於て一風偽造貨 を登成しその第に国出た

賈店やら

一十七日夜ヤマトホテル料理人石川 物を提供すると

中七日夜ヤマトホテル料理人石川 物を提供すると

中七日夜ヤマトホテル料理人石川 物を提供すると

中七日夜ヤマトホテル料理人石川 物を提供すると

中七日夜ヤマトホテル料理人石川 物を提供すると

遊戲場

公園に出來る

熊

됾

は一般では、大神・一般が、大神・一体が、大神・一体が、大神・一体が、大神・一体が、一体が、大神・一体が、大神・一体が、大神・一体が、大神・一体が、大神・一体が、大神・一体が、大神・一体が、大神・一体が、大神・一体が、大神・一体が、一体が、大神・一体が、大神・一体が、大神・一体が、大神・一体が、大神・一体が、大神・一体が、一 しつ」あったが今度大和小學校長、深い所から相談り二三の後援者を、人として持つ良心の示す所に從ひとれが影響に就いて際てより高心、本たので兩氏が厳酷に對する強敵 ピクーへして使ふより各自が社會派訟が無く山本社會係主事は 雄氏の兩氏が顧話に對する強敵 ピクーへして使ふより各自が社會 安東には兒童を本位とした何等の に平島幸三郎氏、社會係に俗田幸 女人 め ねばならぬ結果メー安東には兒童を本位とした何等の に平島幸三郎氏、社會係に俗田幸 女人 め ねばならぬ結果メー安東には兒童を本位とした何等の

であった公園で土地の田本が、 であった公園で土地の田本は一大大田本が、 希望者は左部八名。 であった公園で土地の田本は一九 であった公園で土地の田者は十九 であるので、之も窓可さへ得れ であるので、之も窓可さへ得れ であるので、とは窓では一大大名。 では直に大く変に遊野を設置し設園は の時はひを添へ。 の時はひを添へ。 作館。

農業實習所の

爆破作業をはる

十日間に二十一町歩

京都

への旅

果してさうでもう

Ш

無いてさらであらうか、これを をでする代表作品に武徳會が
として存する、全版の武士道 然として存する、全版の武士道 がとして存する、全版の武士道

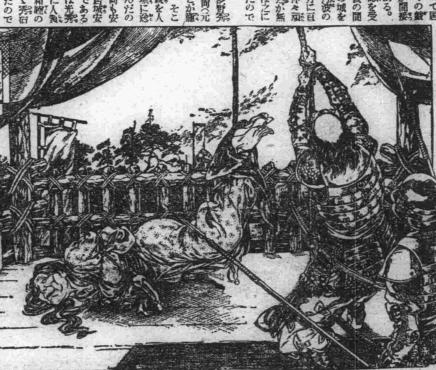
本教養場 無内央一、松田とてる
 本教養場 無内央一、松田とでも
 本教養場 無内央一、松田とでも
 本教養場 無内央一、松田とでも
 本教養場 無内央一、松田とでも
 本教養場 無内央一、松田とでも
 本教養場 無内央ー、松田とでも
 本教養場 無内央ー、松田とでも
 本教養 は
 本教養 な
 本教養 は
 本教 に
 本教養 は
 本教 に
 本教養 は
 本教会
 本教養 は
 本教 に
 本教養 は
 本教会
 本教会
 本教会
 本教 に
 本教養 は
 本教会
 本教に
 本教会
 本教会
 本教会
 本教会
 本教会
 本教会
 本教会
 本教会
 本教会
 本教に
 本教会
 本会
 本教会
 本会
 本会
 本教会
 本会
 本会

「私の京都への施」は古権を過ぎた窓母の病、あつしとのためだ、一般を開みざる叫への土産ものとしては除りに淋しい、順ものも無かつた、性あるは流が産の一子、魔三があるば、かりであった、これが現代の滅がからう? 祝地を映記るのでは、地を見の滅がとした。

の友輝が如何に防外に喧闹さい

第二篇

本主義の魁



大新聞の出読の大新聞の間

商會の良繁

を、全国の緊急に関記して厳密なるへを、全国の緊急に関記して厳密なるへた。 ので、公用正大となった戦である。 商曾では難に憚ることもなく、否、立 商者では難に憚ることもなく、否、立

速く恐怖せられんことを耐る。

哈登長四開鐵撫奉遼鞍旅大爾 口春,原嶺順天陽山順連 賓水祝平新敦東紅東赤敦磐

家世町 市島六梅洋城賀城 甸街二街街町條町街町町町

町二二町前町町町三町町港町町れ

7

「之れをしも信ぜされば天下に信を置 「之れをしも信ぜされば天下に信を置 せられた次第である。

る子に死別

有田薬で助か

大日日 大日日 分分分分分 十八十十二十 五 九 人五 国際 国際

る機苦心したる

有田ドラツグ商権主

有田音松

めて安殿せし

本舗大阪内本町二の必要が、大阪内本町二の必要で、大阪内本町二の必要で、大阪内本町二の必要が、東京日本橋通三字のかる。

語合薬

しおは

七葉を賣る

群大仁釜 城京 ● 中田川山 棟 黄南 朝 東田町天 年 明 東町 天 年 明 東町 天 年 明 東町 天 年 明 東町 一 二 町 町 町 三

油香漢上天北 頭港口海津京 ◆恰利本鴨北前

安東租綠旭門

百久

天下の大問題ぎなつた良薬

田

左

性でな光秀の母織田信長の短慮

(ない、今首の展別) 事は趣まねし、毎日午後になるとで、 ・ (ない、今首の展別) 事は趣まねし、毎日午後になるとで、 ・ (ない) を受けた網米、を受けた網米、を受けた網米、を受けた網米、を受けた網米、を受けた網米、を受けた網米、を受けた網米、ある。

八加答見で決定

林立病院で が有田樂の有郊なことを関き知り を表兄が整置屋町の有田ドラツグ専 変兄が整置屋町の有田ドラツグ専 変別へ行きまして、主任様より病 者の心得版製法、自然愛法に至る まで詳しく数へられ、有田司が様 まで詳しく数へられ、有田司が様 まを買つて彫りました。早速版業 須になりました。處が、父

の輝りもなく元 て股票金しま

にして陽難

村伏尾

で、引擎さ四濱間の連股にて全く 対前に 際る 健康性と なりました が、窓のなと臀飾に診て貰った處、 が、窓のなと臀飾に診て貰った處、 ありました。質に有田藪の像大な ありました。質に有田藪の像大な 四五日腔ちますと、流汗が四五日腔ちますと、流汗が

機いる川小

いのでその儘にして居た感、飲々風邪の須味でしたが、農業が忙し 佛の利益か 薬の効めか

金钟 井上敏夫

を整いた。 本の後に大重り出来を を整いた。 本の後に大重り出来を を整いました。 ながらその日 には、 一生製師の観察を整へなからその日 には、 一生製師に主任様 を整いました。 ながの個利益か なりました。 ない時の個利益か なりました。 ない時の個利益か なりました。 ない時の個利益か なりました。 ない時の個利益か なりました。 ないまではまし、 に気を は、 又二歌間分譲いて譲り服象し ました。 その後は人重り上仕事を は、 又二歌間分譲いて譲り服象し ました。 その後は人重り上仕事を 面となお知らせする次第で

流感から の病

玉 全体者 小川 るい

なく様く、然も下町が時を確むる 腹膜炎

森ウユリ代田

を 
聞の 
影察を受けた 
成が、 ロクマ 汗があり時々胸部に痛みを感ずる

月余り入院して種々養生しました 一向歩々しからず困って居る折が、費用が澤山入る部合に居氣は 有効で多数の全快者のある事を、新聞で有田ドラツグの薬が大 郷みは増し下町が勝れてくるのと案じて居りましたところ、動に

配後素を買求め股票した處、四日 松様鑑製の有田特製治脈薬と有田 松様鑑製の有田特製治脈薬と有田 田 て居る紀様、有田ドラツグによく日 効く薬のある事を聞き、単連交が 日 効く薬のある事を聞き、単連交が に行き私の終値を能しく疑し、主 に行き私の終値を能しく疑し、主 り遂に形につき、食事は逝まず、つても良くなられるのですから無 大阪で願いてゐましたが、何日

井 任様は数句に無任法を取へて下されたので、有田野の建設の有田 大きので、有田野の建設の有田 から かい 野宇俊主 任徳から かった とちなら乾度を決するに違ひない したなら乾度を決するに違ひない

世紀すると気分がよくなり、強壮 しるの整帯も立意に必然し今では世紀する人あつて紹介、家庭の人 として主めまめしく解いて居ります。 住 縣西松浦郡大川村立川 住 条西松浦郡大川村立川

に味がつき、熱も次第に下り、之間に味がつき、熱も次第に下り、之間を登を数のない。 さすがの難 というない との事で、私は素 とり家族一同も非常に感び、現在 より家族一同も非常に感び、現在 より家族一同も非常に感び、現在

民

國

四百久の血が出來る 有田血液素一名オーソール

香 有 田 善 松 市南延末吉緒源 1. 了月五清圳 张

の滋養物を提

とはいり難いので當面會は之 を整へ有田血液素を照用 を整へ有田血液素を原用 



らべき

の感冒から

痛んだ関痛

申されましたので、家族一同夢んで、家族一同夢んで、居ります。世のでは私と同じ病気中に私と同じ病気

に全性してゐると

したら、立面

全快後無事に

お産を

田・一有田下ラック原豊町へ会りまして
まに様より養生法を、承り、有田
生に様より養生法を、承り、有田

朝部マツエ

しまり外ないと離めてみました。 取る知合の方が、有田ドラツクの は薬で膨かつた人が像山あるから を楽で膨かしてはどうかと動めて

の代表的な兜として関策になつてゐる紙糸舗大概是兜の複作等のによつて製作された總金死美、黒糸縅の具足、或は瀬平時代

凝つたものその他があります。近来の傾向としてだ

りのみに限られたかの

桃太郎が全盛

その他では古典的なもの

外飾りは廢れた

生地發見から

最近人形にもその新趣向のものが行はれるやうになつてまるりつて居ります。三月人形に木彫や木目以人形が飾られるやうに或ひは稍略式として兜を中心にして嚴強に飾る事が流行りとな

、ジュングルデム、シーソンスボンデボール、スケート(R 本式)自轉車、勘騒象、袋竹R 本式)自轉車、勘路象、袋竹R である。

袋竹刀 日

**汁菜ナメス・キ** 

1日シャク引切添へて 鮭が初

▲九一成――十一二成……自轉 異のみであって、玩具及びそれに車、跳縄、スキー、スケート、類する子供用器具を除いたもので平均臺、梯子、吊繩、吊棒、シ 類する子供用器具を除いたもので平均臺、梯子、吊繩、吊棒、シ 類する子供用器具を除いたもので・ カンー、ジャンピングスタンド ある。 婦人洋服 般的になった に新味 本位の

ŀ

**横木** ボル、ベースボール、庭球用具

**条事の種類** 



っるホルモンを抽出せる製物





「やアおかしいな。お父さんの頭に毛が

古い寫眞帖を見てた子供

飛んだ

事

はないっないなっ

速水

宗泉

生へてらアー

機和な縁めにそうした問題に無職 心のが及るとは全くないのです。 をに復興してあやうとは全く維想 もしなかつたのです、それにも増 をに登録がであった事は

よき一市民であれ

あると共に

かくてこそ参政権は得られる

伯の解ロスキー夫人談

適當なるもの

り 子供等にはなるべく戸外運動を盛 営る 歳で 250 をさせるをは 子供等にはなるべく戸外運動を盛 営る 歳で 250 を 250 を 350 を 3 三歳から十二歳迄

▲二一歳――五一歳……三輪車を上り奏、ブランコ、メリーホイ新光、スケート(日本式)助罐を新工、スケート(日本式)助罐を新刀、砂場用の砂、造池 色合ひとしては只いグリ 地物ではサテンクレープデシン 傾向として現れて居りま

横銀満 場 廣西番九二三四話電

認められてきた

婦人や兒童の保護善導等で

巡查

英獨等に

好成績をあぐ

在いけ候へど御意にて又出る但 て持出る茶過で御相件衆我等も 大碗割高盛打タメ、メンツに入 一炭酸遊薄茶二三服にて細

一床御花其艦 一棚に御茶残尻フ 添签掛 コプ疾りて

おろして 一水指右同 一畑

用心かち

合試道劍柔迎

練習艦隊歡迎

柔劍道試合

昨日満鐡道場にて

大將O增永四段

何れも大連軍勝つ

季岡江山池田狩志藤野被 田崎村本田中野野田中艦 **知** 同同同同同同同同同同同

木下長官の

廿八日官邸で

本音を吐く 警察の取調で 町七十五番地路上を では十五番地路上を がは十五番地路上を

局粱稈の製紙 美事に成功 楮は一切用ひない ル 教女の集る者頗る多く一般見外に 性された珍しい催しとて内外紳士 を催された珍しい催しとて内外紳士

は、大笑像) 現象光 烈風と共にグラウンドに舞の狂ふ 二十十年 が三時三十分大連無縁電 むたのをでは総合と連絡をとり今になり、大笑像) 現象光 烈風と共にグラウンドに舞の狂ふ 二十十年 が三時三十分大連無縁電 むたのをでは総合と連絡をとり今に在中は京阪武電のため雨ティーム総元のうへ中止 から間からではなった。 なり既に沙河口響の許可を受けたですると意気し今二十一時で後三時より減長球 一般に歌音は歌音になった。 は、 なり既に沙河口響の許可を受けた場ですると意気し今二十一時で後三時より減長球 一般に 歌音を眺ばまれば友 年から同市場を中心に開くこととであるすると意気し今二十一時で後三時より減長球 四時より墨行すること」なった、い場に撃行すること」なった、い場に撃行すること」なった、い場に撃行するに決した 准決勝戦を延期 は女一年から同市場を中心に開くことと 祭社主事城平芳造よりの告訴によ 感覚 から同市場を中心に開くことと 祭社主事城平芳造よりの告訴によ 感覚 から同市場を中心に開くことと 祭社主事城平芳造よりの告訴によ 感覚 から同市場を中心に開くことと 祭社主事城平芳造よりの告訴によ しません から同市場を中心に開くことと 祭社主事城平芳造よりの告訴によ 感覚 かんちゅう ちゅうしょ はいました はいま はいまました はいました はいました はいました はいました はいままま はいました はいました はいました はいました はいました はいました はいまた 廉賣デ

独盗捕はる

天摩山で一名だけ 他の二名は京城

の業務を繼承致

外科内分泌病

煀

泛醫院

大連市言野町と出

電話三二六七世

(三越伊勢町中間)

**辆室完備入院隨時** 

医學博士掘江塞沿·

昭和四年四月一日

財图 大連 醫

院

一日限り之を廢し財團法人大連醫院に於て一切院、沙河口分院及金州分院は昭和四年三月三十南滿洲鐵道株式會社大連醫院、同分院、同壽醫

た書類を種に 自自

四年四月廿一日(日曜日) 日年四月廿一日(日曜日) 日本二十分 ニーユス 「野球連絡改送(綱東ース、野球連絡改送(綱東 ラデス -三分(內地中繼)





新柄荷揃

描かない園信おるなど

大学学院のある日」及び大学学院出品の「根準性のある日」及び大学学院出版である日」及び大学学院出版である日」及び大学学院出版のある日」及び大学学院出版のある日」及び大学学院出版のある日」及び大学学院出版のある日」及び大学学院出版のある日」及び大学学院と特殊を感ぜしめる。

「現場のある日」及び大学学院と特殊を感じしめる。

「最適当」中央美術展出版である。

「最適当」中央美術展出版が、大学学院のある日」及び大学学院のある日」及び大学学院と対象の表情に対象が、大学学院を表情に対象が、大学学院のある。 光を氏工年間のある日本の 
「本語」のある日本の 
「本語」のある日本の 
「本語」のある日本の 
「本語」の 
「本語』の 
「本語』の 滿洲風物畫展

個展し觀る

常藤畵伯の

南監獄

一名破獄逃亡

藤主計暗殺事件と同時刻に

松本聯隊歸還

廿二日に來連

城内外は戒嚴令

東の衛は總で五十四種落洲里、ボー東の衛は總で五十四種落洲里、ボー東の衛は總で五十四種落洲里、ボーマの衛は総で五十四種落洲里、ボーマの衛は総で五十四種落洲里、ボー東の衛は総で五十四種落洲里、ボー東の衛は総で五十四種落洲里、ボー東の衛は総で五十四種落洲里、ボー東の衛は総で五十四種落洲里、ボー東の衛は総である。

京都遠征の

アーム折損のため其反動によりクーともに離補する筈である。
「常天将電二十日發」配報、準河・紫光の場合に回航同地の駐剳級とび・下流橋梁改築工事中のクレーン、「乗船柳橋中に回航同地の駐剳級とび・「東倉庫に一荘」二十三日江崎東にて

て半礁し風弧(危險なる冒靑島及び見が即続局に對して選続情態を送ってゐたが午前四時十分青島よりを記憶を表して選続情態を

のに――途中でも何の位の金を持つてゐるのか調べて見やうと思つて小使を臭れ等とせがんだり事があり、門司に上陸しても彼の所持金を浚つて逃げやうと全てトランク等を買ひ求めたが松田は一度も妾に金を見せた事がな

見る書展として同好者の注目をひて一般表したものだけあつて近來稀にで発表したものだけあつて近來稀にで

二十名決まる

砂塵烈しきため

沙河口市場の

と毒婦ぶりを見せてゐた

債券を賣る約

束で

外三大兒切品澤山

:直齊

お買物の御上手は専門店をお撰定艮品の素敵に安い大連一の専門店

是 地

盤城

By

八円半

.月

二十二日

二十二百

お買物は現金同様

哲と夏の

や品養し

詐欺を働いた男

堺市の視察圏堺市商工

\*



伊藤順三氏作品……於三階 滿洲風物畵



風俗約五十點。滿洲百景中一部第一回の發表…氏が渡滿以來描き集めたる滿蒙各地の風景や 

展覽會

3 H 3 1 B マデ 育貳回新荷着 時好品掘出物 **汝無地、鹽瀨丸帶** 結城縮、銘仙、金 **汝小紋** 大々的見切品

關東州 午後三時より満倶球場にて 口工場對南滿電氣 野球大會 准決勝戰 日

のます。彼は支那の陸軍將校な提供してやる事が出來るのだ。何思には、一人の議別の人の知人あの女の爲に、一體どんな利益をつたではないか。 しても、他に何の方があるのだ。

でなの起居は一々群衆の環観のう に を変しまって、それでなくとも 次 は、彼女は東京殿場の人

○ 大連 高木 春臨 水仙の鉢の白さや軸の文字、水仙の鉢の白さや軸の文字、水仙の鉢の白さや軸の文字、水仙の鉢の白さや軸の文字、水仙の鉢の白さや軸の文字、

**创**式 和光堂大阪支店

満日俳壇

品用御學大科

と) を主成分でせる乳児祭業品

習

常

等の治療的祭養

14:10

(107)

もののみの占むべき 慢良 地位にある純國産化 聰明なる近代的紳士 の賞讃! なる品質を持つ



吾 妻

屋

**電話工工公司** 電話工工公司 館

茶代廢止大勉强

わたし花王薫よ! それにとつても花玉は せめてお脱をアラさぬやうと、だから勢ひ 「おつくりどころじやありませんの」 らがよくつて お願くてお徳ですもの!



會商權民社會式採繳石王花 阿喷馬京東 元遊製

四三五十十十五段機構

説前のあとに

ろいのトキ水に

細かにし

五月十三日李浦行五月十三日李浦行

服で充分です

王殖器障碍 **泌尿器病** 

科房 柳花科兒小 科內 院 医 畑 光

经

案を執るに決した、

而して御批准奏請は今月中に行はる」模

滅相ご日銀總裁

時餘に三つて密議

支那派遣軍

表彰行惱む

意見相違

斯かるで

小當税は

動り突つて去つた

南潯鐵路公司と

漢冶萍公司問題

きのふ預金部運用委員會で

富田預金部長の報告

夢中である

賠償會議の

飽まて拒否

我總領事館と商議と

協議して態度決定

金解禁、在外正貨補充問題で?

藏相は之を否定す

事務別局課制度

一年前の蒸返して

に於けるドイツの教徒が記述の 特果に微すればドイツ側はバリー 二十四日あめりか丸にて臨連の害 は果に微すればドイツ側はバリー 二十四日あめりか丸にて臨連の害 の情報を表する。 を持ちを経験の経験による。 を持ちる時代の経験の経験による。 を持ちる時代の経験の経験による。 を持ちる時代の経験の経験による。 を持ちる時代の経験による。 を持ちる時代の経験の経験による。 を持ちる時代の経験による。 を持ちる時代の経験を表する。 とりまする。 とりまする。 とりまする。 とりまする。 というと

獨代表認む

可能性ありと

ある

市助役と收入役

ける任期満了す

所員を集め別れの挨拶

断じて納入出來ない

電二十日愛 宿の糖に装一、今後右徴税により事故 を担否する事として節目。 に認明事館と協議し適策 を担否する事として節目。 に認明事館と協議し適策 を担否する事として節目。 に認明事館と協議し適策 を担否する事として節目。 に認明事館と協議し適策 を担否する事として節目。 に認明事館と協議し適策

結局修正をせぬ

刑田法制局長官ご

一上書記官長懇談

一者に就き野恋、未だ邦商の搬入貨物に数し、 が開いたが實には云はと源路みの程度でも が内の邦人は大し何れら施するものと見な を講じたが實には云はと源路みの程度でも を講じたが實には云はと源路みの程度でも

さる、成れある時は強硬に救調さる、成れある時は強硬に救調であるで、江西南洋破路公司は實確が江一、江西南洋破路公司は實確が江一、江西南洋破路公司は實確が江一、江西南洋破路公司は實確が江一、江西南洋破路公司は實施が江

百相以下善後策協議の結果

一對の意を表す

問題の字句解釋に單獨聲明

突如邦商に對

學良氏顧問

徐氏赴滬

けふの榊丸で

銷場稅徵的

通告

十九日奉天稅捐總局員が戶別訪問

傾柄な態度を以て

の品柄敷量を税捐縄局に周出るなるもので門子道部條款に関するで を1時で運達し尚被等は機柄なるは常然之が拒否の徹底を期するで を1時で運達し尚被等は機柄なるは常然之が拒否の徹底を期するで を2時で運達し尚被等は機柄なるは常然之が拒否の徹底を期するで を2時で運送しるとので明子道部條款に関する

**戦條約留保批** 

#### 印刷一般 资目社分别公 神田の日へ、日の日大 金额

文が表して、は、ところ、現宗は日本の然。ところ、現宗とは日本の然。ところ、現宗とは日本の然。ところ、現宗ととなんからと云ふが、何處でを領域なんか、表になりして、とうして、日本のない。とうして、日本のない。とうして、日本のない。とうして、日本のない。とうして、日本のない。とうして、日本のない。とうして、日本のない。とうして、日本のない。とうない。とうないない。 

深次に等ししたの名を歌語して、相談に等ししく、高のの記述事件を解決するりして、相談のの記述事件を解決すると共には、高の正式被事件を解決すると共には、高の正式被事件を解決すると共には、高の正式被事件を解決すると共には、高の正式被事件を解決すると共には、高の正式被事件を解決すると共には、高の正式被事件を解決すると共には、高の正式被事件を解決すると共には、高の正式被事件を解決すると共には、高の正式被事件を解決すると共には、高の正式被事件を解決すると共には、高の正式被事件の解析を表示。

政府を開発したと云ふが、軍閥に代表を完成したと云ふが、軍閥に成立をを完成したと云ふが、軍閥にはして、後が地域を出張したと云ふが、軍閥に代表がが地域との資産は10%との資産は10%との資産は10%との資産は10%との資産は10%との資産は10%との資産は10%との資産は10%との資産は10%との資産は10%と対象が、10%に対象がある。10%に対象 を覆へさんとす。

できない、 は、元は、 では、 一般に、 できない、 できない、 できない、 できない、 できない、 できない、 できない。 できない、 できない。 で るの機運を促さんとて、終に日 怪死

得べしと考へてある レベル スキ男

り、そうして馮が山東への進出

#### 適性檢查の 研究委員會設置 であたものであるが十

委員長は貝瀬氏に決定す 満鐵内で頗る期待

### 具會を設く 見會を設く

二、適性檢查委員會は委員長一名 委員及幹事若干名を以て之を組 数十、委員長は社長室能率係長 之に任ず、委員長は社長室能率係長 一三、委員長は曾務を總理し必要に 心受緊により之を定む の受緊により之を定む の受緊により之を定む の受緊により之を定む の受緊により之を定む の受緊により之を定む ★会日常氏(文學博士) 木日午 為会日常氏(文學博士) 木日午 為会日常氏(文學博士) 市上 本人島豐氏(辯護士) 同上 本人島豐氏(辯護士) 同上 本高淵教育專門學校修學旅行 個二十九名 井上規起南教授 生 個二十九名 井上規起南教授 生 日澤されて同上歸滿 で引奉されて同上歸滿

#### 原田五品理事長 大觀小觀

語のみ。 新版信間組だといふ。 政信間組だといふ。 政信間組だといふ。 政を記述の 対策を が大臣の下風に立つのは でのは でのよう。 にこと助役を市長にしたらよからう行といふ奇妙な論がある。いつその 間まで投げ出すやうになる。 も御だもです」と言つてゐれば既 を開きるです」と言つてゐれば既 意興官が結膜を切らせられた。「福府は怪しからぬ」と言った

最新 ⊙四月十

m RR

十五日子,一週間

廖 初子 横喜久子

大興行

三土滅相が撃明せん 三土滅相が撃明せん 電間に難し
ころ正貨現送とかクツ
ころ正貨現送とかクツ
ころ正貨現送とかクツ
ころ正貨現送とかクツ
ころ正貨現送とかクツ
こころ正貨現送とかクツ
こころ正貨現送とかクツ
こころ正貨現送とかりで
ここの職所の所針とではない
ここの職所の所針とではない
こころ正貨現送とかりで
ここの職所の所針の選邦に依つ
こころにない
こころには、
こころには、
ここの職所の所針のではない
こころには、
ここころには、
こころには、

路國の軍縮案

立、不法

電子は直ちに 嚴重抗議した はいからとの 理由で同地の邦 はいからとの 理由で同地の邦

八木總領事嚴重抗議

校長會議

來る三十日に

胃の定例會職出席の気候において開催さる。四帆香港丸にて乗る4年のに乗る4年ので乗る4年ので乗る4年ので乗る4年ので乗る4年ので乗る4年ので乗る4年ので乗る4年ので乗りません。

廿一日(時) 北西の

なる哈爾賓支那官憲に

きを迫らる

の邦人

0

浦鹽漁區の

州充策具體化す

月末關西銀行大會から歸り

君 想 多

拾五日慰 映画 黒

入場料を徴收する電園正門

居留民極度に動搖 **青島** 

るり建物は差當り現在四丁 興味ある

綻び

旅順のさくら

日曜の催し

初めた

| 王塘公園には五、

工事中椿事 **津河鐵橋の** 

大連の所では近の程所轄沙河 ねばならず親達の心勢も一通りは五月二、三日頃、其他に主 聖徳街崎人會では此の程所轄沙河 ねばならず親達の心勢も一通りは五月二、三日頃、其他に主 聖徳街崎人會では此の程所轄沙河 ねばならず親達の心勢も一通りは五月二、三日頃、其他に主 聖徳街崎人會では此の程所轄沙河 ねばならず親達の心勢も一通りは五月二、三日頃、其他に主 聖徳街崎人會では此の程所轄沙河 ねばならず親達の心勢も一通りは五月二、三日頃、其他に主 聖徳街崎人會では此の程所轄沙河 ねばならず親達の心勢も一通りは五月二、三日頃、其他に主 聖徳街崎人會では此の程所轄沙河 ねばならず親達の心勢も一通りは五月二、三日頃、其他に主 聖徳街崎山 中間 となり此の企てをしたもので した三、四百本の櫻があった。「本三、四百本の櫻があった」となり此の企工をしたもので、九日頃が盛りてあらいます。 見頃 は天長節頃か

電影は大連機械会社で議員ひまる 一門から工事中であるが、二十日 一門から工事中であるが、二十日 一門から工事中であるが、二十日 一門から工事中であるが、二十日 本に続きる。 本に表する。 本に表する。

三名死傷す

けふから徴收

三方の入口に門衞が立つて

三方の入口に門衛が立つてた戦策を等の難談を職人で階級闘争を行った戦策する時季。合居住者全部を他に移し大消毒を等の難談を職人で階級関争を開かされて散策する時季。合居住者全部を他に移し大消毒を等の難談を験へられるからと、動められて散策する時季。合居住者全部を他に移し大消毒を等の難談を験へられるからと、動められて、大変を関係にかいます。

グ公殿下新

新抽籤馬に興味集る

本紙に連載大好評の映畵

武井龍三主演の前後篇十六卷

來る廿四五日兩夜協和會

句に限い

了った」と

を放行 | 決言い渡しは來る二十七日の像定 年を求刑し午後一時閉廷したが賎

成行を注視

當分抗告せぬ

あす愈よ優勝試合

衆冠は何處へ、豫想を許さぬ

最後の

日にあ、酸の補助を仰いで終來版

主催 滿洲日報社 野關東州 野 讀者席入 野球大會 場券(山殿弘)

(四月十四日より 衛州中有勢、於曹漢場) 

器 \$200 CO

上海の脳脊

本土生生性で対切會

題の









とめ

代理店

度に於て開會

各種産業の

獎勵概要

本年度の施設事業

特産物の

輸送高

の月十日から七月十日までに 手七百三十萬元の新紙幣全部に 手七百三十萬元の新紙幣全部に ことになった、而して新紙幣全部に ことになった。而して新紙幣と部に

着いの魔とのほど終い 国牧を行ふことに 国牧を行ふことに 国牧を行ふことに 発見にのではど終い を持いるとに

B

銭、十銭、五銭の小紙、一元の三種および五

日から實行

·位引上

大連組合銀行では監察の通り利息を附すべき當座預金の単位別とは中合せ来る五月一日から鮮銀、正金、正隆、凝銀、大連商業に申合せ来る五月一日から鮮銀、正金、正隆、凝銀、大連商業に申合せ来る五月一日から鮮銀、正金、正隆、凝銀、大連商業に申合せ来る五月一日から鮮銀、正金、正隆、凝銀、大連商業に申合せ来る五月一日から鮮銀、正金、正隆、凝銀、大連商業に申合せ来る五月一日から鮮銀、正金、正隆、凝銀、大連商業に申合せ来る五月一日から鮮銀、正金、正隆、凝銀、大連商業 勘話することに決定したと 支銀、外銀へも動

四月中旬の

哈爾賓大洋

新紙幣を發行

帯次舊紙幣を回收す

株式は一齊安金解禁懸念で

(異位略)
大豆(黄豆)二九六、九二七その四大豆(黄豆)二九六、九二七その四他の大豆五二、八五一小豆六、四八豆二、四八豆其他の豆二、三四三高葉七三、四〇九玉一三、三四三高葉七三、四〇九玉一三、三四三高葉七三、四〇九玉一三、二九〇蘇子二、二九〇蘇子一、五五〇胡麻二、九九六蕎麥六、一四六大麻子二、〇一八麻黄二、六〇二落七生五、六四七瓜子六〇七七の他劉鎮及種子四、「入〇豆粕四四、七一四豆和四四、七一四豆五

水産會社の 水揚高 今期の實績

當地株も新安値を唱ふ

瀬州水産會社の今期水場

九〇 三三九〇 一五五五

二滿鐵

元六

0 八八三、八五四 一六、四九二 三六九、六九五 三六九、六九五 四四、〇八二 四四、〇八二

マア素適…… 小兒靴(五 奇の店 黒テニス靴

99日一世月四 元 日五月五 間日五十

国 衛員をして講演の任に當らしめ 国 衛員をして講演の任に當らしめ ◆国子地区31 リ 来週から 湾側に開する。回覧巡り」と 湾側に開する。回覧巡り」と

を得、來る廿五日午後三時から で あれ日重役會で今期決算の承認 は去

観けるものとみられてゐる

勝馬投票券 開 月月 五四二二十十十九八日日日日 雨天順延

三港到着の 特產物數量

〇三月中に於ける特定物の三港到着 ・ 大型東港で萬八千三百五順、合計五 ・ 大型東港で萬八千三百五順、合計五 ・ 大型東港で萬八千三百五順、合計五 ・ 日在荷俵 ・ 大型東港で萬八千三百五順、合計五 ・ 日在荷俵 ・ 日本海 ・ 日本 ・

高は一

千枚 110六五

中旬貿易入超

に鉄越した
に鉄越した

三月中五十三萬餘噸

んだつ

おくして逝きし流田の明星松井千田の後年の生前を偲ぶために、在りし日の被女のアロフィルを描く可く日の被女のアロフィルを描く可く日の被女のアロフィルを描く可くこれで映る漫談館を密設していたで映る漫談館を密設していたで映る漫談館を密設していたで映る漫談館を密設していた。

映畵漫談會

町では、中郷などの各症状と 類つまりさけ等、特出血、脱血、 類つまりさけ等、特出血、脱血、 がしまりさけ等、特出血、脱血、

えず流れ出すのである。

痔疾。種類症狀

はなると懂々一二丁の歩いたると懂々一二丁の歩いた。 は食み出して遂には全に食み出して遂には全に

昭

でいたがいたのでにない。

がつて、人と、神のなどす」 と、一般のなきが振りなかへつた と、一般のなきが振りなかへつた と、一般のなきが振りなかへつた と、一般のなきが振りなかへつた と、一般のなきが振りなかへつた と、一般のなきが振りなかへつた と、一般のなきが振りなかへつた で世

な臓の障子の陰間から。 それを見た四人の診断を、あわて、二紙の を、あわて、二紙の

「早くこれへ擔いで來る

オイー早く驚脆を持つて

念れ

んだ。 と、四人が門所へ走り

(四)

金

(215)

新舊合同の

所が五月上旬

痔疾を怖れぬか

「大き之をはある。 はるだも之をはのに縁疾としては肛門内閣疾に臓を生じて一大者れば、それから多量の出血を来し骨血のであるが時にでするでは、それから多量の出血を来し骨血ので、その等の、その等の、係什れるに至ることもある、痛みが、その等の、係什れるに至ることもある、痛みが、その等の、係什れるに至ることもある、痛みが、その等の、係什れるに至ることもある、痛みが、その等の、係什れるに至ることもある、痛みが、その等の、係什れるに至ることもある、痛みが、その等の、係什れるに至ることもある、痛みが、その等の、係什れるに至ることもあるが時間では、そのは、そのは、そのは、そのは、そのは、そのは、そのは、そのは、そのはでは、そのはでは、そのはでは、そのは、そのはでは、そのはでは、そのはでは、そのは、そのはでは、そのはでは、そのはでは、そのはでは、そ か

和昭

痛に最適

肺病を怖れて

なぜ

四

月

0

衞



で躍りかいつた。

た萩原、

かすかた無合と共に、息杖のかおお京の手に建つた。「この女!」

見ると、ヘッとなった。

現今では性なな寿味素がなるものよみで似たり寄るのは何と云つても野いれてあるがなくは一時の変の側でなるのは何と云つても野いなるの側でなるのは何と云つても野いなるのは何と云つても野いなるのは何と云つても野いなるのは何と云つても野いなるのが、

代表的名字

疾藥

7

ヤ

荣

▲ 肛門 製 創 にれは所謂されて恐って皆に苦しい症みとは血のを作ふものでは間の数が無領時などはなら有者とい症状である、そのので動物にも対しい症状である、そのので動物にも対験に対して恐るべき場場が浸入すれば化器が変して恐るべき場場が浸入すれば化器があるとは出来ない。

理智時に、総製的に、可能に、 一情熱に燃え上う美しい疑視……

昭

を集まれた。 を表して、 をまして、 をもて、 をもて、 をもて、 をもて、 をもて、 をもて、

昭

進する 和昭 昭

88 和 せ

能効治主

事が強力を心、咽喉カダル、百円咳、痰をあり、咳を何等の障害なく知らぬ間に治癒するり、咳を何等の障害なく知らぬ間に治癒する

能划治主 

能効治主  新 越

能効治主

能効治主

上、頭痛、頭痛、耳 斯 其の他解義に原因する腹痛、逆其の他解義に原因する腹痛、逆

元賣發

能划治主

して其の辨別速なる事話合なり。 して其の辨別速なる事話合なり。 る特薬に 湖流

能効治主

理解不職、門部に近、生後等時でなどを 作品不能症、脱落病状等に用ひての特効薬に して株に連用しても無害にして正規の來潮を である事が。

能効治主

翔に戦する特殊戦にで既に定計あり。 東北・北海、 後性下痢、 時候あたり等に 等にて下電 能効治主

場人病血の道一頭、子宮病、ヒステリ場人病血の道一頭、子宮病、ヒステリ網を持ちてである。 発表、 電子、 組織、 する。 をは、 大腹に足をなる文は見つりがみ、 産業・ 大腹に足をなるでは、 大宮病、 ヒステリ 産びすり 前が白にし 産品で 後で遊ぶ神と

/ 館薬 个数几八四流電 は命用御のフ

す賣販に店藥各地各 地番五町笠三市並大 行 洋 和 昭 元 賣 番三四一三連大替振・番九二六四話電

約井井井井相 店誠誠誠誠遇 店 理代 五四一町連浪市連大 室 員 誠 上 井 番ハハカモ 話書 第0二一連大座ロ替提 天東島春濱爾 堂堂堂堂號 面問問間 堂

馬京 文東京高師 東京女高 神 士 東京女高師教 東京本高師教授

先先先生生生

校等

から

時拂は全 五拾錢 拾五錢 十册(神经

本全集を参考に

なくてはなら

五. 三版版 1 徒 王 か 0

らる

號五

医衛水 は 屋 0 高石 命以

は

爛漫

た

毛筆又はベンの 《春東京三五三三三音· 音歌中田 鳳華 一 音歌中田 鳳華 一 約 賣特 店墓

誇り

百花

は

畫譜よ

5

賣 元 知

杉浦非水畫伯編

修 氏

考定 第四學數量%系 考 定 地 考定院大名誉教授 考理 定解技 牧野富 水鐵 野 田 木村 宗 信 眞康 太 Ŧi. 鄉 郞 幹 利 海一

植物、 醫師藥劑師は固より動物 鑛物の各専門家、

込あれ。 右に必須の大出版、 文學家、 宗教家の座 即刻申

め學術參考品として 絕好 各五百頁乃至七百頁函入原本揮繪無處數百面入下令模樣金箔浮出極美本天命模樣金箔浮出極美本 0 名著!!

原著者 監修校註白 非光太寒原帝大名譽教授 問臺灣 木 李 村 時 博 昭 郎 珍

豫約募集。 病上 學術上の 明なる國譯曉光の前に開か たり 0 大聖典は創めて平 大秘藏 積集五千年 醫學治 世界

獸介蟲木果穀草草草火 百字 八名 蘇服木菜 部部部 北主治上下 部 部 部 部 部 部

効豐果富 界に 根最影 據新る 全部書 討究 0 認 務 譯 K は 明 現挿 實 畫 

見 呈進 豫約哪五月廿一 İ 東京市中東京市中 看

■ 規

日毎月 口申込金

略■ 大判極彩色本版手摺、除業(燈影式寫生圖解說、穿 附圖共三百

中央政府否寧ろ議會と植民地中央政府否寧ろ議會と植民地を代表する閣員が出現。 世紀とするに方り、單なる威信 世紀とするに方り、單なる威信 世紀とするに方り、單なる威信 世紀とするに方り、單なる威信 世紀とするに方り、單なる威信 世紀とするに方り、單なる威信 世紀とするに方り、單なる威信 世紀とするに方り、單なる威信 世紀とするに方り、單なる威信 とが却つて統治の將來に好ましたがら、朝鮮に於ける一部の論者とがら、朝鮮に於ける一部の論者との如き、漢式の見解行はる」と、

風に立たしむることは、鮮人に をいっ、混や朝鮮總督を関僚の下 ない。 況や朝鮮總督を関僚の下 ない。 記や朝鮮總督を関僚の下

(可認物運即通三百)

爆弾に坐する

瀚.

洲日報

は成りの方迹に只一回試で対なくいがあります種々の薬も更に対なくがあります種々の薬も更に対なくがあります種々の薬も更に対なくいがあります種々の薬も更に対なくしてつくる

安田の金庫 火災には絕對安全な

今枝 商店

米!・ 城川洋行須勝町電 安東特 今検査器付入側計録也 一二河 奈良漬シスコリュ 敷島町 三河屋電三四七七番 敷島町 三河屋電三四七七番 大連半乳株式會社 大連半乳株式會社 大連半乳株式會社

電営 印一度営電七八五九番 司吉斯町二六 電七八五九番 の御用命は 

四甲目扇芳學種

シンが「ミシンは常盤橋が鳥ミシンは常盤橋が鳥ミシンは常盤橋が鳥・シンは常盤橋が

東町 一萬堂電七八五九番 宇野町 一萬堂電七八五九番

常盤情工含



で、東三省に及ぶことは、殆ど組 で東三省に及ぶことは、殆ど組 であることに就て は何人も異識無き所と思ふっ は何人も異識無き所と思ふっ は何人も異識無き所と思ふっ は何人も異識無き所と思ふっ が事實は裁兵と反對の得る所の 情報は、或は、東三省電事會議 に於ける、事備擴張——表面は が事實は裁兵と反對の增兵と が事實は裁兵と反對の增兵と が事實は裁兵と反對の增兵と が事實は裁兵と反對の增兵と が事實は裁兵と反對の增兵と が事實は裁兵と反對の增兵と が本で不必要若しくは不急の新 に於て不必要若しくは不急の新

からぬ影響を與ふるものであるとを揺ましむるほど欠陥のあるこを揺ましむるほど欠陥のあることを揺ましむるほど欠陥のあることを訴ましむるほど欠陥のあることを誤だ遺憾とするものである

とあるは「超越的」の興植正誤 昨日の本禍中「越權的」

安田金庫高

特約店募集 型錄赠呈

クサ 及聴筒の特 根本維局電大!

ラチ は何でも大勉強

現入二〇三

モミ 旅沿御打みの方は

頭痛にノーシン

大郎 電話四六九二番 大太郎 電話四六九二番 大道 市大 一 大道 市

**東小ラ東局** 

**貸**家 库山麓楓町

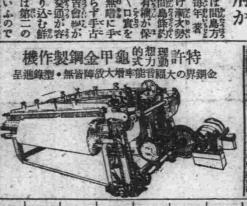
**薬及治療** 

鬼言官堂藥房電七四〇二

ニチ ロボン電話は六六六〇 満洲牧場 電六一三四

ラデオは何で

パタークリーム



在 藤 紅 高 店 カタログ呈上

面

大山通(日本橋近) 吉 野 装 電話八五九八番 貸衣 桑郷備用 さがひや 古書 歯翼で報念上 **貸衣** 電話七四七 は六八四三の まつや

本サイプライタ付社 開発者プライタイン 大連埠頭待合所の大連埠頭待合所の

量

二五七話包

略率で安債な

らい 大連イセ町 を那各省 \* 産好適

科器尿淡毒梅庸皮 東語セハ六七、 重 明8広西-橋盤常-通西連大

性病 毒

歌マツサージ院

大連大山通正艦銀行前 田

難病者以際

那橋電交叉點早川**尚科南** 國道五段**前** 田 久 即

だの國屋質店 が後町八三軒目

若狭町二番地 中

村 れ 一 新古カメラ特價提供 交換歡迎 大連常整橋の買通

連通 オ五球式一切百四十 大連条件 学 行 電四二五九

大連近町10七 人院開電

では、スポンを持ち、 は、江ノ島町十一朝日 で、江ノ島町十一朝日 で、江川の清遊を試みると

輸入組合業績

は見意俱樂部を設置して管行進動に移る計畫であるが新しい試みとの記述とできるが新しい試みとの記述されてあるが新しい試みとのであるが新しい試みとの記述を表して管行進動所にある。

長

▲ 新村中將(聯合艦隊司令長官)

北開夜話、ス同好者間に

#### 人運動場を 建設の計畫 工費二十萬圓にて 近く満鐵に申請

一九日朝信徳町に支那石泉の行倒 住復 十九日大連より籐奉れのあるを通行人が登見しその第 ▲陶尚銘氏 十九日大連より籐奉を通行人が登見しその第 ▲ 本のの行倒 住復 十九日本王

▲期

H

▲汽車賃

(往復) 金四圓三十錢也 來る二十九日朝六時半歸着

## 氣遣はれる 南滿教専の運命

▲申込所 奉天驛案內所(電話三四1)

山觀櫻會員纂

後援 奉天鐵道縣旅客課主催 奉 天日 日 新聞社

一三年後に決定せん

しつ」あつたが今度大和小學校長、深い所から相談り二三の後援者をとれが設置に就いて総てよりな心をたので順氏が影話に對する造調社會施設が無く山本社會係主事は、雄氏の順氏が相前後して轉任して特別を東には見塞を本位とした何等の に平島幸三郎氏、社會係に特田幸の東には見塞を本位とした何等の に平島幸三郎氏、社會係に竹田幸の東には見塞を本位とした何等の に平島幸三郎氏、社會係に竹田幸の大田・ 見童本位の施設として 追て見童俱樂部設立 を人として持つ良心の示す所に從ひてトル制になって高い料金を持ってして使ふより各自が社會

農業實習所の

爆破作業をはる

十日間に二十一町歩

京都

公園に出來る

せしめやうとするのであっう京都の町、有名な程荷山の塩 をする代息一際は第十六年版が を成め徳神る富豪が土地を買 を成め徳神る富豪が土地を買 を成め徳神る富豪が土地を買 には京名物の友神楽工業地 をしたとのことであった、実態 には京名物の友神楽工業を を記しませる。 であった、実態 子 東質はこの影堂で養はれつよる 無質はこの影堂で養はれつよる 無質はこの影堂で養はれつよる

をしめやうとするのであらう記されて、化學工学にも費品するまでもない、化學工学にも費めて行く意味が必要論するまでもない、化學工学にも費めて行く意味がある。

劍道選手赴連

| Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Table | Ta

すると何としても新

納め ねばならぬ結果メー

朝

本主義の魁柿本人屋の識見

で、死前を殺したので、八上城の城兵は いるが、一部城区の信長は光秀の心情も によか秀治、秀前を殺しはせぬと信じて

「けたのとで信長を慢むに至り、整体やる潜な」と表が信長を終したのも同じ筆法ではあるまいか。 が八土域に於て総裁せられたのと、數度の備 を挙げたのである。光光が叛逆した共の原因。 光光は孝道を重んじ主殺しの汚名に甘んじたのでは を挙げたのである。光光が叛逆した共の原因。 光秀は孝道を重んじ主殺しの汚名に甘んじたのでは あるまいか。家脈が主家たる懸臣承を被したのでは 光秀は孝道を重んじ主殺しの汚名に甘んじたのでは あるまいか。家脈が主家たる懸臣承を被したのでは あるまいか。家脈が主家たる懸臣承を被したのでは と変けたのであるから君臣のが画が浅いのでは あるまいか。家脈が主家たる懸臣承を被したのでは あるまいか。家脈が主家たる懸臣承を被したのでは あるまいか。

ある。光秀の主殺しは電鞭に見る。 するといふのが、抑々信長の短尾の 共の結果、光秀の最は八上城で開る 大のには八上城で開る。

三人。子上死別

でさなきだに心趣く感じてゐた抗。 又復長男が毅然したので又も依。 又復長男が毅然したので又もして、早選有名なお響者さんの診して、早選有名なお響者さんの診断を受けました處、人もおそれる 有田藥で助か

した。その後お贈者さんのお薬 脈病との事にビックリして了ひ

請合薬

紛は

者あり

祭町天 兵金門 ◆町一二町町町三

汕香漢上天北 頭港□海津京 ◇怡利本線北前

街街界路街外

死まで覺悟

天下の上

人問題でなった良薬

有田

賣

所

に酸後したのであ に成めて を居の大新聞の間 の一万からの香具 の一万からの香具 洋 速く全快せられんことを祈る。迷ふ事なく商質の良薬に頼つて一日も くものなし」「之れをしる信ぜざれば天下に信を置せられた次第である。

I

口春

哈營長四開鐵撫奉遼鞍旅大

賓水祝平新敦東紅東赤敦磐

家世町 市島六梅洋城賀城 甸街二街街町條町街町町町

火炎との事に驚 局縣立病院で 尖加答見云决定 土谷ノブ が出来ました。

様から製

を表して、有田甕を服用せられるといふ薬はあらゆる薬を試したけ、 に悪して非常に喜んで居ります。 気だといはれて無いてしまひまし が、この病気に良い のが、この病気に良い をいるが、この病気に良い をいば、この病気に良い をいるが、この病気に良い をいる薬を受けましたら、助し をいる薬を受けましたら、助し をいる薬を受けましたら、助し をいる薬を受けました。



が北光秀の母

で、引鞭き四週間の巡版にて全くが、念の為と臀部に診て貫つた處、 破脈体に回復してゐるとの談定であました。 なで詳しく敬へられ、有田三松様 な要の有田様製品版列と有田邮後 素を買つて駆りました。早速版類 変して四五日終ちますと、流汗が 此り、食事が増して來ましたの で、引動き四週間の池版にて全く で詳しく敬へられ、有田三紀の心得服薬法、自然療法に至 固屋町の有田ドラツグ等

佛の利益

薬の水

**売川伊三夫** ないとて、合理的な変生 は効目はないとて、合理的な変生 は効目はないとて、合理的な変生 は効目はないとて、合理的な変生 は効目はないとて、合理的な変生

機いる川小

のお歌へを守り朝は起く起き、皮のお歌へを守り朝は起く起き、皮のお歌へを守り朝は起く起き、皮のお歌へを守り朝は起く起き、皮にれる様窓のが果か日一日と保方に向ひ、二週間の服繁で登版に正い程よくた。ました。然し東び歌賀所を調べながらその日に、又二週間の服繁で登版に正い程よくた。その後は人重以主仕事をおりました。その後は人重以主仕事をいた。その後は人重以主仕事をいた。その後は人重以主仕事をいた。その後は人重以主仕事をいた。その後は人重以主仕事をいた。その後は人重以主仕事をいた。その後は人重以主仕事をいた。その後は人重ないという。

玉 全快者 小川 ゑ 流感から

これまで病氣と云・屋の病氣はした事がなかつたが、ふとした事かなかつたが、ふとした事から流域に確り、それが因で何となく、熱か出て盗 の病

にウユリ代用

るい 腹膜炎 2 有出版が最にお郷田上げて現の間では、

**香養 并上敏夫** 

大く傾く、然ら下臓が時々能むの が大く傾く、然ら下臓が時々能むの 大く傾く、然ら下臓が時々能もの

病みは増し下腹が膨れてくるのと家じて得りましたところ、急にとないのではなからうか と家じて居りましたところ、

ので、これは唯の風彩ではないと ・ ク製で伸々の縦縛であるから人院 ・ するとよいといはれて、窓に三ケ ・ 月余り人院して観々発生しました ・ の、費用が繰り入る部合に減気は ・ 一向排々しからす 困つ て居る抗 ・ で、費用が繰り入る部合に減気は ・ で、費用が繰り入る部合に減気は ・ で、要用がからす 困つ て居る抗 日位から何となく領分が勝れ食師の検索を買求め服験した威、四日の機楽を買求め服験した威、四日の 親切な養生法を数へられ、有田音ツグ等質所を訪問して、主任より に力を得て益々著生に努力し引い、之 有効で多数の全快者のある事を 早速大分縣國東町有田ドラ の結果、さすがの配 樣天 敏 上 井 へ 行かぬと申されました。 常時私 大阪で願いてゐましたが、何日 かっても良くならコート り発に床につき、低層は進ます、
理して除りました機、益を聴くな 安職を要するから醴園することで、お酵者さんに診で、つま

賀佐 全位者 田代リユー 原西松浦郡大川村立川

百匁服 四百久の血が出來る 有田血液素にあオーソール め ば

・ラッグのお薬を版名 ・カましたので、芸町

なりも縦んだ胸痛 を買すめ、脚毛後 を買すめ、脚毛後 の五日しますと変

を早める様舌心したる

有田ドラツグ商會主

有田音松

を解めて安眠せし

本館大阪内本町二三条領質取の際左の如く薬稲頭に薬瓶は、御質取の際左の如く薬稲頭に一字側のもあります。

不足、膝唇性 一不足、膝唇性 不足、膝唇性

全铁者

にの感冒から るべき肺病に

御館と感謝して居ります故、世間とれとても皆有田普林様の変素の

るの質め歌師に診て所 とこ週間服態致しまし に二週間服態致しまし

のより外ないと離めてみました。 ・ 成る知合の方が、有田ドラツグの ・ 大衆で跡かつた人が深山あるから ・ 表来 版 難しては どうかと勧めて

心配して下され 心配して下され が満によいとい る方法をやつて の上は死を待つ の上は死を待つ

起に思い傾ってる

本のではりもなく女兄を分別強して頂き飲味を で悪いて子性致しました。その後 に思いますので、引駆き八淵間の に思いますので、引駆き八淵間の に思いますので、引駆き八淵間の に思いますので、引駆き八淵間の に思いますので、引駆き八淵間の を記しました。その後 か変にないました。その後 か変にないました。その後 まない。 なるから是等 なるから是等 春物を翻取せて でである。 でである。 でである。 用はく可からざる権害必能の 素である同性本島有田血液 素に情心であるかに就ては内標 作所生財態所分析表に依りて知 ちるべし。

お産を

全快後無事に

のなか!

1瞬りのみに限られたかの側があり、外表のたものその他があります。近来

の傾向としてだ

生地發見から

最近人形によその新趣向のものが行はれるやうになつてまるりつて居ります。三月人形に木彫や木目込人形が飾られるやうに或ひは稍略式として兜を中心にして酸酸に飾る事が流行りとな

桃太郎が全盛

その他では古典的なもの

外飾りは廢れた

(六)

銅像を見て

弓

妹「お姉ちやん、あれ黒いお

一一十二一歲……自

別羅素、袋竹刀 スケート (日

・、ジャンピングスタンドある。 ・、ジャンピングスタンドある。 ・、ジャンピングスタンドある。 ・、ジャンピングスタンドある。 ・、ジャンピングスタンドある。 ŀ 婦人洋服 般的になった に新味

の て東京松屋の婦人洋服によれば、 上に見受けます。今春の流行として 上に見受けます。今春の流行として 上に見受けます。今春の流行として 層そのスマートな容姿を街が煉瓦色は最も新しい傾向を示し行となつてまありましたが 人な配色が用ひられて居ります。 の洋装はすでに一般・レ、ブルー、グレー等に、いろ

横木 ベースボール、医球用具

茶事の種類 お以下つ はな

「やアおかしいなっお父さんの頭に毛が

古い寫眞帖を見てた子供

飛ん

だ事

弓

郷店にあり

であ,以上以外 歯を美し **但し歯を白くす** 

のみのコバタ

# 

のです、それにも増われているです。それにも増われている。

に対いて伊大利の政府は

「任うれない」

「任うれない」

「任られない」

「任られない」

「神経・大のでありますが、民間においたの際です。から元真をして居りました。常時にしての 伊太利には輸入を保護する設理。

「おきまが、事態に対て結びありますが、民間においました。 伊太利には輸入を保護する設理。

「おきまが、事態に対て結びありますが、民間においました。 伊太利には輸入を保護する必要にありません。 「大きなのですからない。 「大きない」

「おきまが、事態に対て「輸入の別ものがありますが、民間」

「おきたが、事態に対て「特別の変配人は対人でありますが、民間」

「おきたが、事態に対て「特別の変配人は対人であり」

「なきたが、事態に対して経りますが、民間」

「おきたが、事態に対して経りますが、民間」

「なきたが、事態に対して経りますが、これには、意味を無へるのですから立く事につるので表別の最初の運動に対いる事とか、皮膚に対があり返ををとり換へたり子学紙を関ったりません。 「大きない」

「ない」

「

適當なるもの 三歳から十二歳迄

ール、メリーゴーラ 六一成――八一成……ブラン一大一成――八一成……ブラン 先づアフターヌンドレスはプリン

新しい傾向として現れて居ります。といばのとして現れて居ります セツトデシンで、ブリ ひとしては只、グリ

沙皮 揚 廣 西 話 電 銀満五二三

認められ

てきた

次にスポーツスーツでは

婦人や兒童の保護善導等で

英獨等に好成績をあぐ

て一炭彼游薄茶二三服にて御

たが最近疾に英獨等感に採用され、 
が最近疾に英獨等感に採用され

おろして 一水指右局 一 一 一 一 一 一 一 一 一 元 フ 签あげて御炭不残一階 コブ爽りて

田へくなる 船嘔惡頭心胃食消 車吐醉痛悸腸思化 八惡宿眩亢疼滅不 卧心醉暈進痛退良



壓迫された國際

一舉四點を奪還して -五て辛勝す

濟南監獄の囚

十二名破獄逃亡す

伊藤主計暗殺事件で同時刻に 二木選手收 (ローヘンプトン(英)十九日後電 サレイ、ヘトドコートに続けるト サレイ、ヘトドコートに続けるト サンイ、ヘトドコートに続けるト オーナメント本日の修設を行ふ事となっ ボロ選手と映勝戦を行ふ事となっ 大日田選手と映勝戦を行ふ事となっ 大日選手と映勝戦を行ふ事となっ

外人觀光客

吸收策協議

ピューローで

で敷島町青年會館に於て全国地版店では二十一日より二十三日より二十三日

四名即死す

重傷者三名も病院にて死亡 奉天

航空隊上空から

砂始エキサイトした

關東州野球大會准優勝戰戰蹟

以下七二十十年就三時三十分大趣無疑能が三名は統一都山流尺八演奏會■四年記述が一名は統一都山流尺八演奏會■四年記述が一名は統一の一名は統一の一名は統一の一名は統一の一名は統一の一名は統一の一名は統一の一名は統一の一名は統一の一名は統一の一名は統一の一名ところによれば支票の一名は統一の一名ところによれば支票の一名は統一の一名ところにより、「大き」というには、「ない」というには、「ない」というは、「ない」というには、「ない」というには、「ない」というには、「ない」というには、「ない」というい。」というには、「ない」というには、「ない」というには、「ない」というには、「ない」というには、「ない」というには、「ない」というには、「ない」というには、「ない」というには、「ない」といい。」というには、「ない」というには、「ない」というには、「ない」というには、「ない」というには、「ない」というには、「ない」というには、「ない」というには、「ない」というには、「ない」というには、「ない」というには、「ない」というには、「ない」というには、ない。」といいは、「ない」といい。」は、「ない」というには、ない。」には、「ない」には、ない。」は、ない。」には、「ない」には、ない。」は、ない。」は、ない。」は、ない。」は、ない。」は、ない。 支那汽船坐礁 滿洲風物畫展

本日午後六時より滿級協和會給 念本日午後六時より滿級協和會給 完於で富森大娘校、驅永大勾當、 一般本日午後六時より滿級協和會給 

うり 救助船来航し安全となった旨放い、 で、送つてゐたが午前四時十分青島より、 送つてゐたが午前四時十分青島より。 送つてゐたが午前四時十分青島より。 

大送してゐたと

京都遠征の

廉賣デー

春物

沙河口市場の

外二大兒切品澤山:直

電話

お買物の御上手は専門店をお撰定良品の素敵に安い大連一の専門店 組合三越券にてお買物は現金同様

> 産 地

西と面の

六円半

・七円半八円半

月二十三日

二十一日

二十二日

廿二日に來連

抦荷揃

描かない固信おるなを

なった松本五十勝昧は遠陽から二なった松本五十勝昧は遠陽から二

公務に關して口走り 聯合艦隊の『鳳翔』乘組員

時局批判演說 廿二日歌舞伎で 小包通關成績

召一十五週より 大々的見切品 RYA

**汝無地、鹽瀨丸帶** 結城縮、銘仙、金 水山、金

込んである

在中は京阪武道

伊藤畵伯個展

滿洲 伊藤順三氏作品……於三階 風俗約五十點。滿洲百景中一部第一回の發表・氏が渡滿以來描き集めたる滿蒙各地の風景や 風物畫

展覽會

院

の業務を繼承致候に付此段謹告候也一日限り之を廢し財團法人大連醫院に於て一切院、沙河口分院及金州分院は昭和四年三月三十南満洲鐵道株式會社大連醫院、同分院、同壽醫 入しくなる

電話三二六七世 大連市言野町上出 (三越母勢町出

時好品掘出物 八圓八十二 十三二

神・十三 圓より

京のできたまで、また事は監督の通り 動画にで護送されて来た事は監督の選問を表してあるが、家庭の事情で 工造、合きれて来た事は監督の選問を表してあるが、家庭の事情で 工造、合きれて来た事は監督の選問を表してあるが、家庭の事情で 工造、合きれて来た事は監督の選問を表してあるが、家庭の事情で 工造、合きなたで、一直に登述した。 本下事務員数田利前でしたその情緒た 本下事務員数田利前でしたその情緒た 本で、一直できた。 一直に登述しているが、家庭の事情で とは、本で、一直に登述しているが、家庭の事情で というで、 一直に登述しているが、家庭の事情で 本で、 で、 一直に登述している。 本の情報を 本ので、 、 本ので、 
戀の道行き

男は女の與太の境遇に同情 女は人情に絆された

懐しく末殿の様

高粱稈の の製紙 に成功 は一切用ひない

外科内分泌病 医場博士堀江塞記· 病室完備入院隨時 四和四年四月一日

財團 大連 醫南滿洲鐵道株式會社 煀 泛器

地位にある純國産化

もののみの占むべき

**慢良なる品質を持つ** 

への賞讃!

聰明なる近代的紳士

のます。彼は支那の陸軍將校な、提供してやる事が出来るのだ。何なには、一人の離別の人の知人、あの女の爲に、一體とんな利益をしたではないか。 しても、他に何の力があるのだ。

店頭に並べて鉢の芽水仙 南析

B

本社懸賞當選小說

(禁無路上演)

(107)

本 教女についてのある疑いを嫌つて 村信軍の身の上語をきいてるた事。

「中 の 中 (三)、
「中 の か け に に を の か け に に で の か で あ つ た の で あ つ た の で あ つ た の に は っ な け れ ば な か で あ つ た の で あ つ た の で あ つ た の に は っ な け れ ば な か に は っ な け れ ば な か に は っ な け れ ば な か に は っ な け れ ば な か に は っ な で あ つ た の で あ つ た の に は っ な け れ ば な か に は っ な け れ ば な か に は っ な け れ ば な か に は っ な で あ つ た っ で あ っ で あ つ た っ で あ つ た っ で は っ で す っ で は っ で あ っ で は っ で る で は っ で な で は っ で な は っ で は っ で る で は っ で は っ で は っ で は っ で は っ で は っ で は っ で は っ で は っ で は っ で は っ で は っ で は っ で は っ で は っ で は っ で は っ で は っ で

「マか少什エキス」は「マルト

等の治療的榮養和

常習

便不秘良

不

第日 第日 日

満日俳壇

水 仙

○ 大連 高木 春巻

水仙を擦しをかせて水仙匂ひけり

薬に繋をのせて水仙匂ひけり

薬に繋をのせて水仙匂ひけり

大連 伊東 免水

水仙を擦に移して精きにけり

で整の日のといき居る水仙花 ○ 旅順 濱田 思影 水仙の鉢の白さや軸の文字

大阪市東區宿久大郎町二丁昌

わたし花王黨よ!

それにとつても花玉は

ちがよくつてお願くてお徳ですもの!」

せめてお肌をアラさぬやうと、だから勢ひ

を述げしむ、静に常習便秘の協助に消化機故せられ佳賞なる機

7

14:10

お化粧下に お肌あれを防ぎ お説剃のあとに おしろいのトキ水に

**新小太** ++



部屋代の部三厘乗銭以上部屋代の部三厘乗銭以上

茶代廢止

大勉强

普通學生團體の部

(三食付二圓)

· 大連信後

屋

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

服で充分です

**建設工工人大審** 

「おつくりどころじやありませんの

會商贏長社會式採輸石王花 町噴馬京東 元遣製

高橋汽船大連出帆

**泌尿器病** 生殖器障碍

電話五二六〇十

在 病 粉丝木